

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 臨時報告書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成30年11月14日 |
| 【会社名】 | 株式会社ソフトフロントホールディングス |
| 【英訳名】 | Softfront Holdings |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 平野井 順一 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区永田町二丁目17番3号 |
| 【電話番号】 | 代表 03(6550)9270 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 I R・法務担当 五十嵐 達哉 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区永田町二丁目17番3号 |
| 【電話番号】 | 代表 03(6550)9270 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 I R・法務担当 五十嵐 達哉 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

1【提出理由】

平成30年9月5日開催の当社取締役会において、当社の完全子会社である株式会社ソフトフロントDevelopment Service（以下「ソフトフロントD S社」）の全ての株式をF P Tジャパンホールディングス株式会社（以下「F P Tジャパンホールディングス社」）に譲渡すること（以下「本件株式譲渡」）を決議いたしました。本件株式譲渡により、ソフトフロントD S社は、当社グループからは外れることになります。

本件株式譲渡は、特定子会社の異動及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象に該当しますので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号、第12号及び第19号の各規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1．特定子会社の異動について（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号に基づく開示）

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

名称：株式会社ソフトフロントDevelopment Service
住所：東京都千代田区永田町二丁目17番3号
代表者の氏名：代表取締役社長 吉川 幸之輔
資本金：30,000千円（平成30年9月13日現在）
事業の内容：ソフトウェア業

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数

異動前：600個（うち間接所有分0個）

異動後：0個（うち間接所有分0個）

総株主等の議決権に対する割合

異動前：100.00%（うち間接所有分0.00%）

異動後：0.00%（うち間接所有分0.00%）

（注）総株主等の議決権に対する割合は、ソフトフロントD S社の平成30年9月13日現在における総株主等の議決権の数（600個）を基準に算出しております。

(3) 当該異動の理由及びその年月日

異動の理由：当社の完全子会社であるソフトフロントD S社の全株式をF P Tジャパンホールディングス社に譲渡することにより、当社の特定子会社でなくなっております。

異動の年月日：平成30年9月13日

2．連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号に基づく開示）

(1) 当該事象の発生年月日

平成30年9月13日（株式譲渡実行日）

(2) 当該事象の内容

ソフトフロントD S社の連結上の帳簿価額と売却額との差額及び為替換算調整勘定の取崩額を「関係会社整理損」として特別損失に計上しております。

(3) 当該事象の損益に与える影響額

平成31年3月期第2四半期会計期間の財務諸表において、関係会社整理損64,020千円を特別損失として計上しております。また、平成31年3月期第2四半期連結会計期間の連結財務諸表において、関係会社整理損37,688千円を特別損失として計上しております。

以上